

表1 品種による窒素の増肥に対する効果（十勝・上川農試、2014～2016年のまとめ）

品種	標準施肥区(N6)に対する規格内収量の増収程度(%)			窒素の増肥に対する効果
	基肥増肥(+N3)	追肥(+N3)	葉面散布(+N3)	
スノーデン	1～27	6～33	—	基肥増肥および開花始めの追肥ともに有効
トヨシロ	10～21	-6～28	-10～16	追肥よりも基肥の増肥が有効
リラチップ	18～30	11～25	—	〃
キタアカリ	-1～20	7～16	—	増肥が効果的な場合もある
きたひめ	-20～17	-2～11	—	〃
男爵薯	-3～15	-5～11	1～ 8	増肥が有効でない
メークイン	-10～-7	-4～ 3	-22～-2	〃

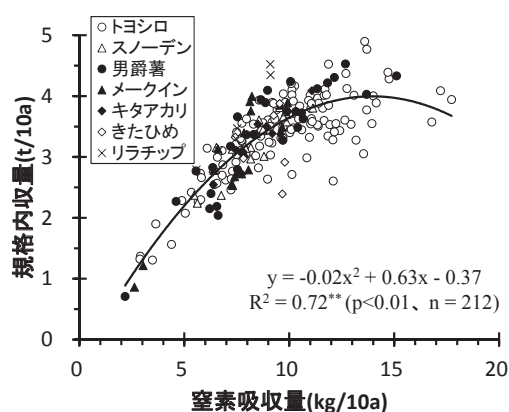


図1 ばれいしょの収穫期窒素吸収量と規格内収量の関係
(2014～2016年、十勝地域・上川地域)

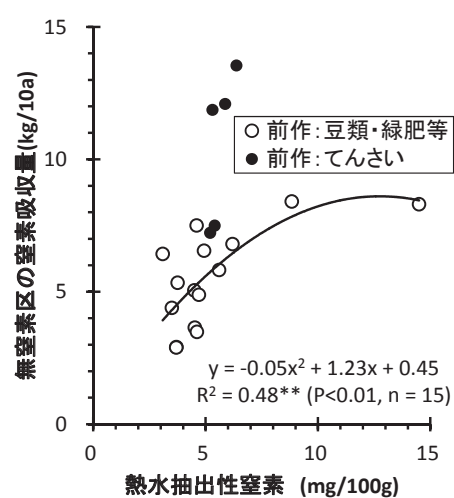


図2 熱水抽出性窒素と無窒素区の収穫期窒素吸収量の関係
(2014～2016年、十勝地域・上川地域)

表2 加工用ばれいしょにおける土壌診断と窒素施肥対応

熱水抽出性窒素 (mg/100g)	土壌由来の窒素吸収量 (kg/10a)	総窒素施肥量(kg/10a)	
		てんさい跡	その他
1,2	2	11	15
3,4	4	8	12
5,6	6	4	8
7,8	7	3	7
9,10	8	3	5
11以上	9	3	3

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。

道総研十勝農業試験場

電話 (0155) 62-2431 E-mail: tokachi-agri@hro.or.jp